

節電診断実施例

ドリームシアター岐阜

◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって、年間約6千円の光熱費(CO₂排出量：0.2t-CO₂)の削減が見込まれる。
- LED灯への交換などの投資改善も行うことによって、年間約1,359千円の光熱費(CO₂排出量：31.6t-CO₂)の削減が見込まれる。

◆ 改善提案

改善提案項目		改善提案内容	削減額 [千円]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
1.窓際照明の消灯	運用 改善	窓際で明るいスペースを消灯する。	2	0.1
2.暖房設定温度の引き下げ		暖房の設定温度を1℃下げること、約10%の空調電力の削減が可能である。着衣量を調整するなど、無理ない範囲で取り組む。	4	0.1
3.デマンドの見える化と節電目標の設定	投資 改善	電力使用量の「見える化」ツールとして設置して、節電の目標値を設定する	120	—
4.高効率誘導灯への更新		蛍光灯を使った従来の誘導灯をLED灯に更新する。	54	1.4
5.高効率照明への交換 (蛍光灯、白熱電球→LED灯)		現状の照明機器を高効率機器(LED灯)に交換することで電力使用量の削減を図る。	353	9.0
6.高効率照明への交換 (ハロゲン灯→LED灯)		照度の測定結果を基に、照明基数も削減できるとさらに消費電力を削減が可能である。	826	21.1
合計			1,359	31.6

◆ 削減効果の見込み

年間電気料金	<p>削減効果：1,359千円</p>	<p>施設外観</p>
CO ₂ 排出量	<p>削減効果：31.6t-CO₂</p>	
原油換算	<p>削減効果：16.7kL</p>	

◆ 他にも適用できる施設例

- 照明照度を下げる余地のある施設
- 暖房設定温度の引き下げ余地のある施設
- LED灯やデマンド監視装置が未導入の施設

◆ その他の効果

- デマンド装置導入による見える化を用いて、より詳細なエネルギー消費動向の把握が可能となり、更なる省エネの可能性はある。

- 館内に節電に取り組んでいることをPRするポスターを掲示したり、職員がバッジやワッペンを付けて、来館者に周知することにより、一般家庭への波及効果も期待される。
- 省エネ化に向けたアイデアを職員から募集することで、省エネに対する参加意識が高まり、細かな無駄の削減も期待される。